



地域協働学校・よつろく

運営協議会だより No.3

令和4年6月

第3回 地域協働学校運営協議会の報告です。

6月18日(土) 15:00~15:45 四谷第六小学校 体育館



◇代表挨拶

・今日は久しぶりの学校公開で多くの保護者が来校したそうですが、保護者の方が学校での子どもの様子を直に見ることが出来るこのような機会は大事だと思いました。

・地域では6月の始めに神社のお祭りがありました。子どもたちも一緒にというわけにはいきませんでした。町も徐々に日常を取り戻していくのかなと思います。

・マスクについて、校長先生とも話していましたが、熱中症の判断が非常に難しく、教育委員会のマスク着用に関する通達も『喋らない場合』という一文が入っているとなかなかマスクが外せないのかなと思います。これから本格的な暑さを迎えるにあたり、マスクについては辛かったら自分で外す判断ができる子どもたちとそれを見守れる大人たちになればいいかなと思います。今日は地協のメンバーと先生方とで子どものことや学校のことを話せる有意義な時間になればと思います。

◇校長挨拶

・教員と地協のメンバーの顔合わせとなりますが、100周年に向けて学校の方で行おうとしていることを各学年から話せるかなと思っています。また、分科会からの話も聞いていただければと思います。

◇各委員自己紹介◇

◇教員自己紹介◇

- ・校長
- ・安全安心支援部担当教員
- ・環境支援部担当教員
- ・学習支援部担当教員
- ・四谷第六幼稚園教員

◇各学年より報告◇

○研究主任

・100周年を迎えるということで学校のあゆみを振り返り、地域とのつながりを感じる機会が多くなると思います。そういったときに子どもたちが学校に愛着をもち、地域で過ごしていることに意義や誇りをもって欲しいと考えて、今年度は、「地域・学校を誇りに思う児童の育成」をテーマに研究を進めていこうと考えています。そこでそれぞれの学年ごとにテーマを決めましたので、地域の皆さんからのアドバイスや、ゲストティーチャーからいろいろな動向を教えていただきながら授業を進めていきたいと考えています。

(1年, 2年, 幼稚園)

・1年生はモルモット、2年生は生き物大好きということで、生き物や野菜に詳しい方のお知恵をお借りできればと思います。また、場所として新宿御苑を調べていくので詳しい方がいらっしゃいましたら、こちらもよろしくをお願いします。

(3年生)

・先日行った町探検をいろいろな面からもっと深めて、区内でも他の地域と比べて自分たちの住む地域はどのようなか比較をしながら学習を進めていきたいと思っています。

(4年生)

・『共に生きる』というテーマで学習を進めていますが、地域の中で障がいのある方、高齢者、外国人といういろいろな人が支えあってこの町は成り立っているが、今のままだと子どもたちは支えられているという実感しかない状況の中で、自分たちに何かできないかということで、パンフレットなどを書いて、発信するという機会があればと思っています。

・ユニバーサルデザインなどいろいろなことも含まれて国立競技場も勉強になるかなと考えていますが、新しくなったらセキュリティの関係からか連絡すればすぐにつながることが難しい状況になっています。

(5年生)

・『食がつなぐ命』という単元から、食の大切さやこの地域でつくられる「新宿野菜」の歴史等学びながらまとめていきたいと思っています。

(6年生)

・『世界の中の私たち』世界の様々な国を調べて現状を知り、それぞれの国がどんなことを大切にしているかを前期で学習しています。後期になってからは、私たちは日本に生まれ、この地域に育ちどんなことを大切にしているのかということ、1964年と2021年のオリンピックをテーマに、住む人たちがどんな思いでオリンピックを開催していくか、それをほかの国と比較することで自分たちらしさ、日本国民らしさなどを子どもたちなりに考えていければと思います。

○委員より

・町探検に行っただ子どもたちの感想を教えてください。

⇒お寺の多い地域、いろいろな大切な施設が集まった中心の地域であるとか、急な坂がある、名前が書かれた坂があったというような感想がありました。

・4年生の学習で、パンフレットの発信は子どもたちからという理解でよいのでしょうか？

⇒パンフレットという形でなくても、子どもたちが地域の中で支えるということはどういうことができるのかを授業ですすめ、それがパンフレットでもポスターでも発信したことが独りよがりのものではなく、地域の方にとって本当に必要なものになっているか確認したりすることで、自分たちが地域の一員となっている自覚をもちたいと考えています。

○委員より

・先ほどユニバーサルデザインのお話が出ていましたが、国立競技場のように出来ているところはいいのですが、個人的に思うのは、まだ出来ていないところもたくさんあるということや、日本のユニバーサルデザインに対する考え方は遅れているのでそういうところを学ぶというのもいいかと思えます。

⇒子どもたちが作って発信して終わり、聴いて終わりではなく、聴いて発信してのやり取りの中で考えるということをして行ければと思います。作ったものはそのままにせず、評価していただければ学びにつながるのではないかと思います。

◇支援部ごとの分科会◇

◇副代表より◇

・コロナの方はだいぶ落ち着いてきていますが、これからは子どもも先生方も熱中症には十分気を付けて活動してください。

【今後の予定】 7月12日（火）17：30～ 四谷第六小学校 理科室